



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アルファシステムズ

コード番号 4719 URL <https://www.alpha.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 潔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員経営企画本部担当 (氏名) 高田 諭志 TEL 044-733-4111

四半期報告書提出予定日 2022年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	24,706	12.3	2,928	29.2	2,968	28.3	2,024	32.4
2021年3月期第3四半期	21,998	△0.3	2,265	△0.3	2,312	△0.3	1,528	△1.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	144.21	—
2021年3月期第3四半期	108.90	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	45,485	37,363	82.1
2021年3月期	44,307	36,191	81.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 37,363百万円 2021年3月期 36,191百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2022年3月期	—	25.00	—		
2022年3月期（予想）				55.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2022年3月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当25円00銭 記念配当30円00銭

配当予想の修正については、本日（2022年2月7日）公表いたしました「2022年3月期（第50期）配当予想の修正（創立50周年記念配当）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2022年3月期の業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,500	7.0	3,600	6.8	3,640	6.2	2,400	5.2	170.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、【添付資料】6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年3月期3Q	14,052,400株	2021年3月期	14,052,400株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	12,963株	2021年3月期	12,739株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年3月期3Q	14,039,559株	2021年3月期3Q	14,039,769株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報)	7
3. その他	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が依然として色濃く、外出自粛や休業要請等による経済活動の停滞により厳しい状態が続きました。また、世界的な半導体不足やサプライチェーンの制約が、輸出や生産に影響を及ぼしました。今後、政府の経済対策等は期待されますが、新型コロナウイルスの新たな変異株の蔓延等による景気の下振れリスクは依然として大きいことが予想されます。

情報サービス業界では、先端技術の活用で事業を変革するデジタルトランスフォーメーション(DX)に注目が集まり、企業の戦略的なシステム投資の重要性が高まりました。これにより、様々な分野でデジタル化のためのシステム開発及び技術開発が活発化しております。

通信システム分野では、第5世代移動通信(5G)が通信インフラとして普及しつつあり、次の世代の通信規格に向けた検討が始まっております。また、更なる高速・大容量・省電力を実現する通信サービスの構想もあり、市場の拡大に期待が持てる状況となりました。

このような事業環境の中、当社は開発体制の拡充を継続し、ソフトウェア開発事業の拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高は24,706百万円(前年同期比12.3%増)、営業利益は2,928百万円(前年同期比29.2%増)、経常利益は2,968百万円(前年同期比28.3%増)、四半期純利益は2,024百万円(前年同期比32.4%増)となりました。

なお、第1四半期会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を適用しております。この結果、売上高は259百万円増加し、営業利益、経常利益はそれぞれ76百万円増加しております。

<セグメント別の概況>

文中における金額につきましては、セグメント間の内部振替前の数値となります。

①ソフトウェア開発関連事業

i) 通信システム

ネットワークマネジメント及びモバイルネットワーク関連の売り上げが増加したことにより、売上高は7,148百万円(前年同期比6.5%増)となりました。

イ) ノード

5G関連の売り上げは増加しましたが、ネットワークプラットフォーム(通信サービスの共通基盤)関連の売り上げが減少したことにより、売上高は1,858百万円(前年同期比10.5%減)となりました。

ロ) モバイルネットワーク

5G関連の売り上げが増加したことにより、売上高は1,792百万円(前年同期比3.2%増)となりました。

ハ) ネットワークマネジメント

放送用の通信ネットワーク関連の売り上げが増加したことにより、売上高は3,498百万円(前年同期比20.6%増)となりました。

ii) オープンシステム

流通・サービス及び情報通信関連の売り上げが増加したことにより、売上高は16,374百万円（前年同期比16.3%増）となりました。

イ) 公共

官公庁向けシステム関連の売り上げが増加したことにより、売上高は4,152百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

ロ) 流通・サービス

インターネットビジネス関連の売り上げが増加したことにより、売上高は6,876百万円（前年同期比19.2%増）となりました。

ハ) 金融

決済システム関連の売り上げが増加したことにより、売上高は1,592百万円（前年同期比31.1%増）となりました。

ニ) 情報通信

企業向けのサービスシステム関連の売り上げが増加したことにより、売上高は2,156百万円（前年同期比54.9%増）となりました。

ホ) その他

その他の売上高は1,596百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

iii) 組み込みシステム

車載システム関連の売り上げが減少したことにより、売上高は836百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

②その他

文教ソリューション関連の売り上げが増加したことにより、売上高は347百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ1,178百万円増加し、45,485百万円となりました。これは現金及び預金の増加1,987百万円が主な要因であります。

負債は、前事業年度末に比べ6百万円増加し、8,122百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ1,172百万円増加し、37,363百万円となりました。これは利益剰余金の増加1,160百万円が主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月10日に公表いたしました通期の業績予想については変更ありません。なお、参考値として公表している売上高の内訳について2021年11月5日に修正しております。詳細は、2021年11月5日に公表いたしました「2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,532,135	22,519,202
売掛金	8,033,610	—
売掛金及び契約資産	—	7,350,610
有価証券	999,952	999,904
仕掛品	786	104,704
その他	244,627	274,918
流動資産合計	29,811,112	31,249,340
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,377,809	4,278,077
土地	5,179,820	5,173,538
その他（純額）	125,879	117,965
有形固定資産合計	9,683,509	9,569,581
無形固定資産		
投資その他の資産	13,454	26,907
投資有価証券	1,386,622	1,299,192
その他	3,413,411	3,341,935
貸倒引当金	△1,000	△1,000
投資その他の資産合計	4,799,033	4,640,127
固定資産合計	14,495,997	14,236,615
資産合計	44,307,110	45,485,956
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,327,723	1,113,088
未払法人税等	688,170	311,669
賞与引当金	1,148,102	1,046,989
役員賞与引当金	—	135,000
受注損失引当金	9,000	—
その他	3,446,547	3,999,285
流動負債合計	6,619,542	6,606,032
固定負債		
退職給付引当金	1,257,140	1,277,215
その他	239,147	239,147
固定負債合計	1,496,288	1,516,363
負債合計	8,115,831	8,122,395
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,500,550	8,500,550
資本剰余金	8,647,050	8,647,050
利益剰余金	19,036,172	20,196,429
自己株式	△37,328	△38,177
株主資本合計	36,146,444	37,305,851
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	44,835	57,708
評価・換算差額等合計	44,835	57,708
純資産合計	36,191,279	37,363,560
負債純資産合計	44,307,110	45,485,956

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	21,998,810	24,706,758
売上原価	16,719,485	18,649,247
売上総利益	5,279,325	6,057,510
販売費及び一般管理費	3,013,715	3,129,221
営業利益	2,265,609	2,928,288
営業外収益		
受取利息	13,389	13,527
受取配当金	3,946	2,370
受取賃貸料	27,081	27,240
その他	15,229	9,057
営業外収益合計	59,646	52,195
営業外費用		
賃貸収入原価	12,605	12,140
その他	—	84
営業外費用合計	12,605	12,224
経常利益	2,312,651	2,968,259
特別利益		
固定資産売却益	770	1,523
投資有価証券売却益	5,850	10
特別利益合計	6,620	1,533
特別損失		
固定資産除却損	59,389	3,517
特別損失合計	59,389	3,517
税引前四半期純利益	2,259,882	2,966,275
法人税、住民税及び事業税	525,420	791,853
法人税等調整額	205,563	149,722
法人税等合計	730,983	941,576
四半期純利益	1,528,898	2,024,699

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

当社では、これまでソフトウェア開発における契約のうち、進捗部分について成果の確実性が認められる請負契約は、工事進行基準を適用し、委任契約及び派遣契約は、検収時に収益を認識しておりました。

収益認識基準等の適用により、進捗部分について成果の確実性が認められる請負契約は従来の工事進行基準と同様に一定の期間にわたり収益を認識し、委任契約及び派遣契約は、履行義務を充足するにつれて一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。

あわせて、ライセンスサポートが含まれたソフトウェアライセンスの販売は、従来はソフトウェアライセンスの販売時に一括して収益を認識しておりましたが、ソフトウェアライセンスについては、従来と同様に販売時の一時点で収益を認識し、ライセンスサポートについては、サポート期間に合わせて一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期会計期間の期首より前に新たに会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高が259,551千円増加し、売上原価が182,933千円増加し、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ76,618千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は162,462千円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前事業年度の貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「売掛金」は、第1四半期会計期間より「売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前事業年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定及び会計上の見積りにつきましては、前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書計上額 (注3)
	ソフトウェア 開発関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	21,665,347	333,463	21,998,810	—	21,998,810
セグメント間の内部 売上高又は振替高	376	△376	—	—	—
計	21,665,723	333,087	21,998,810	—	21,998,810
セグメント利益	2,255,679	15,759	2,271,438	△5,829	2,265,609

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製品販売事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△5,829千円は、各報告セグメントに配分していない人件費であります。
3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書計上額 (注3)
	ソフトウェア 開発関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	24,359,243	347,514	24,706,758	—	24,706,758
セグメント間の内部 売上高又は振替高	376	△376	—	—	—
計	24,359,620	347,137	24,706,758	—	24,706,758
セグメント利益	2,918,022	17,041	2,935,063	△6,774	2,928,288

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製品販売事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△6,774千円は、各報告セグメントに配分していない人件費であります。
3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計方針の変更)に記載のとおり、第1四半期会計期間の期首より収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期累計期間は、「ソフトウェア開発関連事業」の売上高が247,901千円、セグメント利益が73,288千円、「その他」の売上高が11,650千円、セグメント利益が3,329千円それぞれ増加しております。

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

(単位：千円)

セグメント及び事業の区分	前第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	増減率 (%)	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
ノード	2,081,862	1,862,986	△10.5	2,738,174
モバイルネットワーク	1,734,738	1,793,955	3.4	2,401,645
ネットワークマネジメント	2,895,478	3,498,902	20.8	4,013,207
通信システム	6,712,078	7,155,844	6.6	9,153,027
公共	4,060,567	4,152,413	2.3	5,492,649
流通・サービス	5,896,568	6,877,744	16.6	8,106,264
金融	1,214,439	1,592,105	31.1	1,651,313
情報通信	1,413,975	2,160,282	52.8	2,038,148
その他	1,659,281	1,596,826	△3.8	2,249,159
オープンシステム	14,244,833	16,379,373	15.0	19,537,534
組み込みシステム	874,126	836,085	△4.4	1,149,357
ソフトウェア開発関連事業	21,831,038	24,371,303	11.6	29,839,919
その他	335,012	439,819	31.3	1,460,368
合計	22,166,050	24,811,123	11.9	31,300,288

(注) 金額は販売価格で表示しており、セグメント間の内部振替前の数値となります。

②受注状況

イ) 受注高

(単位：千円)

セグメント及び事業の区分	前第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	増減率 (%)	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
ノード	1,999,198	1,717,123	△14.1	2,650,514
モバイルネットワーク	1,911,434	1,782,448	△6.7	2,415,385
ネットワークマネジメント	2,728,375	3,598,824	31.9	3,878,801
通信システム	6,639,008	7,098,396	6.9	8,944,701
公共	4,275,571	4,247,215	△0.7	5,952,247
流通・サービス	5,303,307	5,885,965	11.0	8,536,352
金融	1,144,846	1,672,342	46.1	1,666,051
情報通信	1,499,443	2,167,310	44.5	2,119,619
その他	1,686,674	1,601,584	△5.0	2,228,108
オープンシステム	13,909,842	15,574,418	12.0	20,502,379
組み込みシステム	842,877	884,911	5.0	1,081,092
ソフトウェア開発関連事業	21,391,728	23,557,726	10.1	30,528,172
その他	1,222,052	1,110,475	△9.1	1,457,862
合計	22,613,780	24,668,202	9.1	31,986,035

(注) 金額は販売価格で表示しており、セグメント間の内部振替前の数値となります。

ロ) 受注残高

(単位：千円)

セグメント及び事業の区分	前第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	増減率 (%)	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
ノード	554,575	402,913	△27.3	544,085
モバイルネットワーク	523,560	350,436	△33.1	360,000
ネットワークマネジメント	552,070	684,152	23.9	583,359
通信システム	1,630,206	1,437,501	△11.8	1,487,445
公共	957,719	1,277,686	33.4	1,182,884
流通・サービス	1,869,053	1,775,200	△5.0	2,765,773
金融	222,975	387,543	73.8	307,306
情報通信	555,713	537,037	△3.4	526,659
その他	433,223	387,660	△10.5	382,903
オープンシステム	4,038,685	4,365,127	8.1	5,165,526
組み込みシステム	189,251	198,849	5.1	150,023
ソフトウェア開発関連事業	5,858,142	6,001,479	2.4	6,802,996
その他	1,288,264	1,158,864	△10.0	395,903
合計	7,146,407	7,160,344	0.2	7,198,900

(注) 金額は販売価格で表示しており、セグメント間の内部振替前の数値となります。

③販売実績

(単位：千円)

セグメント及び事業の区分	前第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	増減率 (%)	前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
ノード	2,076,904	1,858,296	△10.5	2,738,710
モバイルネットワーク	1,737,016	1,792,012	3.2	2,404,526
ネットワークマネジメント	2,899,699	3,498,031	20.6	4,018,835
通信システム	6,713,619	7,148,340	6.5	9,162,072
公共	4,042,410	4,152,413	2.7	5,493,922
流通・サービス	5,769,871	6,876,538	19.2	8,106,197
金融	1,214,439	1,592,105	31.1	1,651,313
情報通信	1,392,803	2,156,932	54.9	2,042,034
その他	1,658,611	1,596,826	△3.7	2,250,365
オープンシステム	14,078,137	16,374,817	16.3	19,543,832
組み込みシステム	873,590	836,085	△4.3	1,151,032
ソフトウェア開発関連事業	21,665,347	24,359,243	12.4	29,856,937
その他	333,463	347,514	4.2	1,461,635
合 計	21,998,810	24,706,758	12.3	31,318,573

(注) 金額はセグメント間の内部振替前の数値となります。